

## 【シラバスⅡ】令和8年度 評価規準

教科名 家庭		科目名 家庭基礎		
時期・単元	内容のまとめり	知識・技能	思考・判断・表現等	主体的に学習に取り組む態度
前期 4月	ガイダンス 「自分・家族」	・多様化した社会の中で自立した青年となるための心構えや自立に向かう知識を身につける。	・自立した大人とは何か、自分自身がこれからの人生をどう歩むのかを考えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習事項を用いて、自分の生活や社会の課題に目を向け、改善策を前向きに考えようとしている。</li> <li>・グループワークにおいて、自分の意見を積極的に述べ、協働的に活動に参加している。</li> <li>・プレゼン発表や成果物等、高い目標を設定し、忍耐強く取り組んでいる。</li> <li>・提出物から、授業への積極的な取り組みがみられる。</li> <li>・生活者として自分自身の自立についてきちんと考えている。</li> </ul>
前期 4月～6月	「衣生活」	・自立した衣生活を営むための知識・技術を身につける。	・衣服材料や衣服の生産の背景にある諸問題について考え、意見を述べるができる。	
前期/後期 7月～11月	「食生活」 ホームプロジェクト 「住生活」	・自立した食生活を営むための知識・技術を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の低い自給率の背景にある諸問題について考え、自分の意見を述べるができる。</li> <li>・日本の食文化を大切にし、健康的な食生活を送るためにどのような行動をしたら良いか考えを表現できる。</li> </ul>	
後期 11月～1月	「住生活」	・自立した住生活を営むための知識・技術を身につける。	・住まいの安全・衛生を考え、ライフスタイルに合わせた住まいの変化について表現できる。	
後期 1月～3月	「子ども」 「高齢者」 「消費生活・環境」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの特性や発達について理解できる。</li> <li>・高齢者の特性を理解し日本の高齢化の現状と社会福祉、社会制度との関係が理解できる。</li> <li>・経済の仕組みを理解し、経済的自立のために必要な知識を身につける。</li> <li>・環境と生活の関係性を理解し、環境負荷低減を目指した生活ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化や介護、子育て支援を考え、日本の現状の中で自分の行動を表現することができる。</li> <li>・環境負荷低減のため、どのように行動したら良いか判断し表現することができる。</li> </ul>	
主な評価方法		定期考査 作品等成果物	定期考査・作品等成果物 提出課題・ホームプロジェクト	提出課題 ホームプロジェクト
その他				